

Aグループ

No.	項目	数	内容
1	農村部の良さを知ってもらい不便さを補う必要がある。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・農業力を高め若い人や地域外の方でやってもらえる人を見つける必要がある。(魅力をPR) ・農村部や不便な地区に便利になるシステムを調査(リサーチ)する必要がある。 ・農業の後継者を見つける必要がある。 ・恵まれた農村地域でもありますので、どこどこで採れた野菜・果物を材料とした食材や料理を作る。 ・地産地消を考えた販売の場がない。 ・農村部に住む人達があると便利と思えるような内容を聞き取る必要がある。 ・農地の集約化はどのようにしているのか。 ・農村部と都市部に違いがありどちらも良い。
2	かわちの自然を生かしたPR事業を起こす必要がある。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・河内の自然環境を内外にどうアピールするか。河内の良さをひと言で表現できる言葉や標語的な ・河内町時代に整備して遊歩が使われていない所がある。これらを有効に使いたい。 ・サイクリングやウォーキングで、かわちの自然を楽しんでもらえるための道や休憩所を整備する必要がある。 ・自然派石鹸などの地元ブランドを確立していく。 ・河内地区のPRポイントをリサーチし、地域活性化に役立てる必要がある。
3	豊かな自然を保全していくために地域力を高める必要がある。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を通して、自然を大切にすることを育てる環境整備 ・美しい川や自然や風景を無くさないために地域力を高める必要がある。 ・自然を守る後継者が少ない。 ・温暖化対策のために自然を守る必要がある。 ・山林の保護や保全 ・自然生態を守る活動を継続する必要がある。(ホタル・フクロウ) ・水質を良く保つ必要がある。 ・豊かな自然をいかに保全していくのか、具体策を講じる。 ・豊かな自然を守るための団体や若い人を育てる必要がある。 ・自然に恵まれた地であり(ホタルや蝶など)住宅地や都市部がある。
4	地域の後継者を育て自然を大切にしていく必要がある。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と地域をつなぐ結びつき場や事業が多い。 ・子ども達が豊かな自然の恵みに感謝できる機会や体験を定着化する必要がある。 ・地域交流で年配から子どもまで地域力を上げる必要がある。 ・未来を担う子ども達に自然の素晴らしさを伝えてほしい。 ・自然を大切にすることを育てる必要がある。

Bグループ

No.	項目	数	内容
1	自然環境を整備していく必要がある。	11	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地開発等に何らかの規制が必要である。 ・公園等を見ても、あまりきれいになっていない所がたくさんあると思います。 ・山林の宅地化が進んでいるが安全性はいかがか。 ・ごみの不法投棄の監視体制を強化する必要がある。 ・自然環境を活かしたふれあいの場を増やしていく必要がある。 ・山林の管理が行き届いていない所が多く感じる。 ・調整区域を維持して拡大させない方策を進める。 ・不法投棄を無くす方法を罰金だけではなく考えてはいかかか。 ・農業地帯であるのに、生産調整地が目立つ。 ・農地の放棄地を減少させる対策 ・農地が減反で溢れている場所が多い。
2	東西の格差がある。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・西側地域(グリーンタウン・太陽が丘・自由が丘団地)の暮らしやすい環境整備を進める。 ・河内の西側には日常生活に必要な店が無いので大型店の進出策をとる。 ・住環境のバランス差がある。
3	高齢者にやさしい地域にしていく必要がある。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・東西を走るバスの運行を考える。 ・高齢者が多くになるにつれて、不便な地域への配慮 ・地域内交通はうまく利用できているのだろうか。 ・地域内交通をより充実させる必要がある。 ・河内地域内を周るバスの運行を考えてみる。
4	その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ、キツネ、タヌキ等の獣害対策を進める。 ・水と緑に恵まれ住環境が良い。 ・西地域には大きな団地があるが大きな公園はない。

Cグループ

No.	項目	数	内 容
1	豊かな自然を守り水と緑を守る必要がある。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・指定公園と遊歩道を地域の宝として法制化が必要がある。 ・水と緑にふれあうイベントが必要である。 ・豊かな自然を守る仕組みを作る必要がある。 ・豊かな自然を住民の意識を高めて守る必要がある。 ・自然にふれあえる遊歩道が必要である。 ・このまま公害を少なくし、自然を守る必要がある。
2	農産物の地産地消の推進を目指す必要がある。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のブランドの農産物品をシステム・制度化する必要がある。 ・地産地消を推進する必要がある。 ・休耕地の有効活用で、河内の知名度をあげる。 ・地域住民に新鮮な野菜を提供する。 ・農産物が採れるといっても米以外には思いつかない。(特産物が必要か)
3	森林開発の規制と不法投棄を防止して森林を保護する必要がある。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄をさせないようにする必要がある。 ・森林の保護が必要である。 ・森林開発をストップさせる必要がある。 ・ごみ投棄の規制をする。地域独自の条例を作る。 ・杉林等を間伐して、風通しの良い森を育てる。 ・緑を多くする必要がある。 ・森林伐採を減らし、植林を増やす。
4	その他	7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で川をきれいにする必要がある。 ・里山の整備(長岡地区ではサンショウウオが生息) ・自然を守り獣害から作物を守る必要がある。 ・野生動物対策に電気柵 ・森林公園の整備 ・緑に囲まれた公園が必要である。 ・春(桜)、夏(ハス・スイレン)、秋(紅葉)を楽しめる公園を整備

課題の抽出 グループ協議結果【都市環境】

Aグループ

No.	項目	数	内 容
1	都市環境と自然環境に住む人々の双方の利便性を上げる必要がある。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・住み分けがうまくできている。(昔でいえば家屋と田畑で今は住宅地と農村部) ・交通・買い物・健康づくりなどの地元民の生活に役立つ環境を整えていく必要がある。 ・都市部から自然環境のあふれる場所にすぐに行ける。 ・過疎地の方々が都市部に行きやすい手段が必要である。
2	都市部の方にもかわちの豊かな自然を共有していく必要がある。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ほどよく都市開発は必要だが、かわちらしい自然と人を守るのが大切 ・駅周辺に河内の良い所を表示した観光マップのようなものがあると良い。 ・都市部の方に農村の良さを伝える必要がある。 ・新鮮な野菜のマーケットが必要 ・地域(地区)によってバランスの悪いところをかわち内で補えるシステムがあると良いのでは
3	地域の人々が心身共に健康でいられるシステムが必要である。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や作品等の展示場がない。 ・健康促進のための施設(プール・運動公園など)を利用する。 ・地域の人々が地元のプロチームや著名人を応援するような活動 ・自治体交流(運動会など)を根付かせ、地域を大切にすることを続けられる良い。
	自然を守りながら計画的な都市環境を整える必要がある。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の規制 ・太陽光発電設備が多く見られますので、その発電を利用した商品開発 ・河川を利用した水力発電の開発 ・河内地区内の東西の交通網がない。巡回バスが必要 ・駅周辺は朝夕の交通が混みあう。 ・外部からのアクセスで駅から図書館・自治センターへのアクセスを便利にする。 ・空き家や廃屋が増えている。借家にして人口減を抑える。 ・空き家等対策でゴースタウン化を防ぎ、まちで活用できないか。 ・岡本駅周辺を宇都宮市の上質で住みやすい住宅地にする。 ・美しいまちづくり(ごみ置き場)カラスや猫の対策

Bグループ

No.	項目	数	内 容
1	東西の格差がある。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・西側地域(グリーンタウン・太陽が丘・自由が丘団地)の暮らしやすい環境整備を進める。 ・河内の西側には日常生活に必要な店が無いので大型店の進出策をとる。 ・住環境のバランス差がある。
2	高齢者にやさしい地域にしていく必要がある。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・東西を走るバスの運行を考える。 ・高齢者が多くになるにつれて、不便な地域への配慮 ・地域内交通はうまく利用できているのだろうか。 ・地域内交通をより充実させる必要がある。 ・河内地域内を周るバスの運行を考えてみる。
3	住環境を良くしていく必要がある。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えてきており、早めの対策が必要である。 ・空き家が増えているので、よりよい活用を生み出したらどうか。 ・住宅密集地が多くなるにつれて自治会とのつながりを強くしていけたら良いと思う。 ・自治会に入らない世帯が多いので加入を促進させる対策をする。
	その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住みやすい環境づくりをする。 ・みどり公園のように集って話ができる所がある。 ・高齢になると都市部のほうが生活が楽

Cグループ

No.	項目	数	内 容
1	地域内交通を拡充し生活弱者の支援をする必要がある。	5	・きめ細かい交通網が大切である。
			・自然が豊かだと生活がしにくい？交通の整備が必要である。
			・デマンド地域内交通を拡充させることである。
			・高齢化の進展に伴う交通弱者対策
			・計画が小規模で道路状況等が悪い。計画的な都市計画を望む。
2	空き家・耕作放棄地の対策を練り活用を図る必要がある。	2	・空き家対策が必要である。
			・空き家、耕作放棄地の再活用を図る必要がある。
3	新興住宅地の地域住民との融和を図る必要がある。	2	・新興住宅地を新ルールで活力ある地域にする必要がある。
			・住宅の開発に伴い、地域の活性化が必要
4	その他	4	・森林を残す方策を考慮した都市計画が必要
			・大雨時における浸水が再三みられる。
			・河川の汚れを解消する必要がある。(ごみや雑草等)
			・展望台のある大きな商業施設を作る必要がある。